

私 が 大 学 受 験 を 意 識 し 始 め た の は 高 校 一  
 年 生 の 終 わ り ぶ り で し た 。 こ の 時 期 に 受 験 を  
 意 識 し 始 め た 理 由 は 、 自 分 が 行 っ た い 大 学 が  
 決 ま っ た か ら で す 。 し か し 、 そ の 大 学 は 自 分  
 で は 合 格 す る こ と が 難 し い 大 学 で し た 。 私 は  
 そ の 大 学 に 合 格 す る た め に 受 験 を 意 識 は し て  
 い ま し た が 、 チ ャ ー カ ー 部 に 所 属 し て お り 、 ほ  
 と ん ど 家 庭 学 習 が で き な か っ た で す 。  
 結 局 、 本 格 的 に 受 験 勉 強 を 始 め た の は 部  
 活 動 が 終 わ っ た 三 年 生 の 七 月 三 日 か ら で し た 。  
 そ の 時 点 で の 模 試 の 判 定 は E 判 定 。 そ こ か ら  
 私 は 、 夏 休 け は 毎 日 十 四 時 間 程 度 勉 強 し ま し  
 た 。 全 然 基 礎 が 身 に つ い て い な か っ た た め  
 夏 休 け 中 は 同 じ 問 題 集 を く り 返 し や り 、 ま た  
 英 単 語 、 英 語 長 文 を 毎 日 読 む こ と を 習 慣 と し  
 ま し た 。 最 終 的 に 勉 強 の 成 果 が 出 た の は セ ン  
 タ ー 試 験 直 前 の 模 試 で A 判 定 を と っ た も の で  
 あ り 、 そ れ ま で は 勉 強 を し て い た も ほ と ん ど  
 E 判 定 。 よ く し て 判 定 で し た 。 モ ン タ ー 試 験  
 本 番 、 二 次 試 験 で は 、 自 分 の 満 足 ぐ ら まで

入学大学:	大学	学部	学科	卒業高校名:	高校	名前:
-------	----	----	----	--------	----	-----

はありませんでした。私が、ある程度はできて見  
 事第一志望の大学に合格することになりました。  
 夫。私の受験はそんな感じでした。  
 私が受験を終え、一番大切であったと感じ  
 ることは、自分の気持ちやコンプレックス  
 について、勉強を好きにする以外は、ど  
 うしても勉強が苦手な人が多かったり、  
 ないと感じてしまったり、しかし、勉強  
 をしななくては、志望校に合格することでは  
 ありません。それならば、勉強を楽しくてやる方  
 法が、正しいです。わかっている問題ができて  
 夫時、そのことをおもしろいと感じること。  
 実際に私は勉強を楽しくてやりました。  
 そうすることによって、成績は上がりました。  
 エッセイに書くこと、行動すること、また、  
 に考えを上げ、必ずよい方向に進んで行  
 す。このように意識して勉強することです。  
 夫のは、私の担当者の方がおかげです。勉強  
 が、その時、勉強法について悩んだ時に、  
 も、その時に、アドバイザーとして、  
 くれまされた。その

入学大学：	大学	学部	学科	卒業高校名：	高校	名前：
-------	----	----	----	--------	----	-----

まけないうたにかんばってほしいです。  
 このから受験に臨む人たちには、自分自身に  
 たいことを考えて勉強に取り組んでいきました。  
 が努力を怠らないうちの思いです。私はこのように  
 せん。逆に結果が出るように勉強すること  
 力とりの結果がでなければ意味がありません。  
 はない人はできる限り勉強するべきです。努力  
 強しなくともいいでしょう。しかし、そうでは  
 でした。自分ができる人であると思いたく勉強  
 懸命勉強しても少ししか成績は上がりません。  
 かし、私はそうでは有りません。一生  
 ずごく勉強しなくても受かる人もいます。し  
 ための勉強もしなければいけません。実際、  
 在り水は受かりません。それは、受かる  
 いたことでも認めます。それは、努力は人それぞれ  
 むれに大して違ったりすることです。はつきり  
 いたって大学受験は点数勝負です。点数をとり  
 最後は、私が受験勉強中に頭の中に入ると  
 きました。常に楽しく勉強することによって  
 ことができました。